

2021年度事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

2021年度の日本建築協会は、総会時の会員交流懇親会や見学会、一部イベントの中止や実施予定の事業が年度後半に後倒しになるなど、多少の影響があったものの、理事会、各種委員会は昨年度に引き続きリモートを採り入れるなど、ウィズコロナ対策も進み全体的には概ね順調に推移した。

一方、早急に解決しなければならない課題である協会の中心事業の「建築と社会」誌はここ数年広告収入や作品作風の作品数の減少などにより、赤字が続き協会全体の収支に大きな影響を及ぼしている。このため、特別編集委員会などから見直しの提言をいただき、2022年4月号から装いも新たな「建築と社会」誌を提供することができた。赤字解消にはまだまだ時間を要するが、2022年度以降も見直しを進め収支のバランスが取れるよう努力していく。

2点目は恒常的に続いている会員の減少である。2021年度は団体会員、個人会員とも下げ止まりが見られたものの予断を許さない状況に変わりはない。学生も含めた幅広い世代の会員の獲得や「サポーター制度」の導入など、会員増の実現に向けての検討を行った。

2021年度収支決算は、会費収入が予算額を上回り、個人正会費を除き地方正会費、団体正会費は昨年の決算額をも上回った。半面事業収支では契約約款収入が前年度の改定による大幅な販売増の反動により、収益が予算額を大きく下回る、改革半ばである「建築と社会」誌の収支が前年より悪化した大きな赤字となった等の要因により予算、前年度実績より悪化した。

一方管理費は前年度実績を上回ったが、予算は下回った。結果本部、支部あわせ正味財産額が114万円の減少となった。

積立預金については、退職給付積立預金を要支給額に見合う額を積立てたほか変動はなかった。

I 本 部

◎役員会等の開催状況

1. 総会、理事会、評議員会、常任理事会

定時総会 6月24日(木)

- ①2020年度事業報告・収支決算報告
- ②2021年度事業計画・収支予算
- ③役員改選

第1回 通常理事会 6月8日(火)

- ①2020年度事業報告・収支決算報告
- ②2021年度事業計画・収支予算
- ③役員改選

第2回 通常理事会 11月24日(水)

- ①2021年度上半期事業執行状況

第1回 臨時理事会 6月24日(木)

- ①会長選任
- ②役付役員選任
- ③常任理事ならびに常設委員長の委嘱
- ④理事の会務分掌

定時評議員会 6月8日(火)

- ①副議長互選
- ②役員候補者推薦

第1回 常任理事会 4月28日(水)

- ①2020年度事業報告(案)
- ②2021年度事業計画(案)
- ③2020年度収支決算見込と2021年度収支予算(案)
- ④6月8日評議員会・理事会と6/24総会・理事会、講演会、表彰式、懇親会の開催方法
- ⑤2021年度役員(理事)の回答状況
- ⑥第40回大阪都市景観建築賞
- ⑦第5回片岡安賞「論考コンクール」のテーマ
- ⑧建築4団体(JIA、土会、事協、協会)共催インターンシップ開催の可否

第2回 常任理事会 5月26日(水)

- ①2020年度事業報告(案)
- ②2020年度決算報告(案)
- ③2021年度事業計画(案)
- ④2021年度収支予算(案)
- ⑤評議員会・理事会の議題と6月24日総会、総会記念ウェビナー
- ⑥2021年度役員(理事)の回答状況
- ⑦第7回特別編集委員会報告
- ⑧工事請負契約約款委員会委員の交代
- ⑨建築材料・住宅設備総合展KENTEN2021及び優良製品・技術表彰の延期
- ⑩第68回青年技術者選考結果

第3回 常任理事会 6月24日(木)

- ①会誌活性化を含めた協会全体事業のフリートーンキング
- ②2021イケフェス大阪

第4回 常任理事会 7月28日(水)

- ①特別編集委員会の動き
- ②各委員会の活動状況と今年度の取り組み
- ③イケフェス大阪2021(10月30日(土)、31日(日))の参加

第5回 常任理事会 9月22日(水)

- ①第8回特別編集委員会報告と意見交換
- ②編集委員会報告
- ③2021「イケフェス大阪」への参加企画
- ④各委員会及びイベントの年間活動マップのフォーマット
- ⑤第1回通常理事会、支部長会議の開催方法
- ⑥令和3年度第2回大阪都市景観建築賞幹事会報告
- ⑦2021年建築関係団体合同忘年懇親会第1実行委員会報告

第6回 常任理事会 10月27日(木)

- ①2021年度上半期事業執行状況
- ②2021年度上半期収支予算執行状況
- ③第1回支部長会議(通常理事会)【11/24】開催方法
- ④特別編集委員会
- ⑤「建築と社会」誌掲載記事の外部(他社)インターネット配信
- ⑥建築3団体の事業・委員会活動への共有ツール活用状況
- ⑦第67回工高生デザインコンクール審査結果

第7回 常任理事会 11月24日(水)

- ①「建築と社会」誌掲載記事の外部(他社)へのインターネット配信
- ②建築3団体の事業・委員会活動への共有ツールの活用状況
- ③編集企画委員会とサロン事務局
- ④財政健全化
- ⑤第5回片岡安賞論考コンクールの応募状況
- ⑥令和4年(2022年)在阪建築15団体合同新年交礼会の中止
- ⑦100周年記念誌(100年史、モダンエイジ、群像)の在庫状況

第8回 常任理事会 1月26日(水)

- ①6月総会他イベントの日程、会場、講師
- ②KENTEN2022
- ③編集企画委員会とサロン事務局
- ④4月特集号他
- ⑤青年技術者顕彰の募集開始と周知のお願い
- ⑥第5回片岡安賞論考コンクールの応募状況
- ⑦第40回大阪都市景観建築賞
- ⑧「戎橋のたもとにある公衆トイレの建替え」(プロポーザル)事務局の依頼

第9回 常任理事会 2月24日(木)

- ①2022年度役員(理事)、評議員の推薦依頼
- ②6月30日総会講演会の講師
- ③「KENTEN2022」講演会の講師
- ④編集企画委員会と活性化
- ⑤第5回片岡安賞「論考コンクール」公開プレゼンテーション
- ⑥第6回建築セミナー「直感で理解する!建築デザイナーのための構造技術の基本」、新刊「イラストでわかる 建築現場のチェックポイント」
- ⑦「戎橋のたもとにある公衆トイレの建替え」ヒアリング報告

第10回 常任理事会 3月23日(水)

- ①2022年度役員(理事)、評議員の推薦状況
- ②6月定時総会、臨時理事会、講演会、表彰式(懇親会)の当日スケジュール
- ③編集企画委員会と協会活性化アクション
- ④情報見学会小委員会「青年技術者企画」
- ⑤U-35委員会「茨木市との協業による社会実験企画」
- ⑥第5回片岡安賞「論考コンクール」の審査結果
- ⑦「第68回工高生デザインコンクール」の募集

第1回 会長・副会長・常任理事・支部長会議

- 11月24日(水)
- ①2021年度上半期の事業執行状況
- ②意見交換

2. 常設委員会

協会の事業を円滑に遂行するため、5つの常設委員会を設置している。

(1) 編集委員会

会誌「建築と社会」の企画・編集のため、編集委員会を設置し、特集小委員会、作品作風小委員会、広告企画小委員会の3つの小委員会で構成している。広告企画小委員会については、2021年12月末に小委員会としての役割を終え、編集委員会に統合した。今後編集委員会として活動していく。

特集小委員会は計画分科会(計画系、建築計画系、インテリア・住宅系)と構造分科会、設備分科会、施工材料分科会、法令分科会の5つの分科会に分かれている。編集委員会12回、特集小委員会を48回、作品作風小委員会を12回、広告企画小

委員会を9回開催した。

近年、広告収入や作品作風への掲載数の減少により会誌収入が落ち込んでいる。そこで3年前に「会誌活性化ワーキンググループ」、一昨年に「特別編集委員会」を立ち上げた。そこでは会誌の魅力アップや収支改善案にとどまらず、協会活動の活性化についても議論が交わされた。昨年10月には会誌及び協会活動活性化の提言をまとめ、解散した。その後は提言をベースに会誌の活性化については編集委員会で、協会活動の活性化については常任理事会にて再度議論をした上で、順次、改革に取り組んでいる。

(2) 事業委員会

見学会や講演会、研修会などを企画する情報見学会小委員会を7回開催し、3月25日(金)に大阪梅田ツインタワーズ・サウス見学会を実施した。また史料研究会と協力し2021年度「イケフェス大阪」に参画し「スペシャルツアー-日本建築協会 Presents! 近代の大阪城址を歩く」を実施した。都市景観建築賞幹事会と4団体で構成する建築関係団体合同忘年懇親会の実行委員会に参加した。

(3) 出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行を行うため、11回開催した。

(4) 教育委員会

建築工実務講習会の実施のため講習会小委員会、工高生のデザインコンクールを開くための工高生教育小委員会、「再読 関西の建築」を企画・編集するための史料研究会を運営している。講習会小委員会を2回開催し建築工実務講習会を実施した。工高生教育小委員会を2回開催した。また、史料研究会を5回開催し、過去に「建築と社会」誌に掲載した「再読 関西の近代建築」及び「再読 関西近代建築一論考・記事編」で扱えなかった建築や再発見が待たれる建築などを紹介する「再読 関西の建築」を連載している。引き続き大阪府や建築4団体で構成する「大阪府住まい・まちづくり普及協議会」に協力した。

(5) 未来創生プロジェクト

様々な活動を通じて、建築と社会の未来を探り、創り、育てるとともに人材の発掘・育成を目的に、「建築次世代委員会」、「2040委員会」、「U-35委員会」の3つの委員会が構成されている。建築次世代委員会は、建築と社会を担う人材育成に資する活動を創造するため10回開催した。コロナ禍のため実施予定であった学生のための現場見学会は中止した。

2040委員会は、日本建築協会が100年にわたり築いてきた歴史の上に、「次世代(Next Generation)」の想いを集結させ、「次代(Next Era)」が創造的かつ魅力的なものとなるべく、これからの「建築と社会」のあるべき姿を思考(志向、試行)することを目的に10回開催し、意見交換会を2回実施した。

U-35委員会は、若手会員の増強と協会活動の活性化を目指し12回開催し、委員相互の勉強会としてトークパトンを4回実施した。U-35世代の交流と一般市民の交流の場になる公開型イベントの開催を下半期に予定していたが、コロナの流行を受け本年度に延期した。

3. 特別委員会

協会の顕彰事業を円滑に遂行するため、5つの特別委員会を設置している。

(1) 青年技術者選考委員会

設計・計画、構造、設備、施工など建築に関連する分野から満35歳以下の青年技術者を顕彰するため、選考委員会を5月13日(木)に開催した。

(2) 工高生デザインコンクール審査委員会

工高生デザインコンクールは、工高生の設計技能向上のため、1955年(昭和30年)創立以来毎年実施してきた。審査委員会を10月16日(土)と表彰式を11月13日(土)に開催した。

(3) 「建築と社会」賞選考委員会

「建築と社会」誌に掲載された作品、記事の中から社会性、環境などに配慮した建築作品や建築にかかわる論文や記事などを顕彰する。選考基準を検討し選考委員会を2022年度に開催する予定。

(4) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会

100周年記念事業のテーマである「新しい地平へ」を実現するため、論者の発表の場を提供する「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール第5回テーマ調整会議を5月7日(金)に開催した。

(5) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール実行委員会

論考コンクールのテーマ案策定、審査委員選任、公開プレゼンテーションの運営などを行う独立した組織として一昨年立ち上げ6回開催した。

◎事業の執行状況

1. 「建築と社会」誌の発行

「建築と社会」誌は、1917年（大正6年）の創立以来協会活動の中核として、会員相互あるいは会員と社会を結ぶ役割を果たしている。毎月発行し会員の手に届けている。2022年3月号で通巻1200号を数える。

発行月	特集内容	特集以外の主な内容
4月号	「建築と社会」は変わります	●作品作風
5月号	WELL COME	●gallery
6月号	第4回片岡安賞（日本建築協会論考コンクール）募集テーマ：レガシーの新たな意味を問う	●法令コーナー
7月号	第68回 青年技術者	●構造・設備の頁
8月号	コロナが変える建築と社会	●再読 関西の建築
9月号	地下利用の昔と今と未来～利便性・快適性・安全安心を求めて～	●建築と社会を考える
10月号	木造建築と火災	●メンバーズフォーラム
11月号	構造学から見る世界	●新製品レビュー
12月号	建築とインテリアを創る真のプロフェッショナル	●インフォメーションなど
1月号	建築と社会の夢をつなぐ	
2月号	第28回 日本建築協会会員作品「私の空間作法」	
3月号	東海支部特集	

2. 講演会の開催

話題の建築物や構造物、都市問題など様々なジャンルを対象にエピソードや苦労話、ノウハウなどを聞く講演会やセミナーを毎年開催している。2021年度は2回開催した。

- ・定時総会記念ウェビナー「Future of Workの現在地」6月24日（木）70名
コクワークスタイル研究所 山下正太郎
- ・「第6回建築セミナー」直感で理解する！建築デザイナーのための構造技術の基本
3月16日（水）26名
（株）安井建築設計事務所 山浦晋弘

3. 見学会の実施

著名建築物や近代建築などの見学会を毎年実施している。9月22日（水）に予定していた第6回学生のための現場見学会はコロナ禍のため中止した。情報見学小委員会主催の「大阪梅田ツインタワーズ・サウス見学会」は3月25日（金）に実施した。

4. 建築工事実務講習会の開催

1957年（昭和32年）以降、毎年主として中堅以下の建築技術者を対象に標記講習会を実施している。2021年度は1月20日（木）に開催した。

5. 顕彰事業の実施

- (1) 青年技術者の顕彰
1954年度（昭和29年度）から毎年実施している。2021年度は34名を顕彰した。
- ・設計・計画部門 17名
岩月 嵩、大隈亮佑、片岡政規、鎌田順寛、河西孝平、川東大我、小畑 香、杉江順哉、瀧田曉、田中和八、田中真紀子、寺村雄機、仲村侑記、西園 誠、東 拓郎、山上直哉、尹 在勲
- ・構造部門 9名
上口真路、田浦史彬、高橋俊之、田中佑樹、土井公人、畑 武志、馬場勇輝、三宅由祐、渡邊真吾
- ・設備部門 6名
池田雄一郎、岡本卓馬、川田康介、酒井健太郎、成瀬太一、橋本一毅
- ・施工部門 2名
太田順博、小谷忠宏
- (2) 優秀卒業生の表彰
優秀な建築系学科の卒業生を表彰することにより、研鑽意欲の向上を促し、激励するため1952年（昭和27年）から実施している。2021年度は工業高校や専門学校など27校50名を表彰した。

6. コンクールの実施

- (1) 工高生デザインコンクールの実施
2021年度で67回を数える。上半期は「『新しい』オフィス」を設計課題に募集を行い23校149点の応募があった。10月16日（土）に審査会を開催し11月13日（土）に表彰式を行った。
- ・最優秀賞 金澤菜々子
 - ・優秀賞 枝古遥仁・島津隆辰・佐々木淳・新田郁馬
 - ・入選 梶田滉航、上村日菜、古閑遙祐、佐々木優衣、ヒウラ夢愛華・藤田琉楓・汐中久遠、藤井七星、森本貫多良
- (2) 第5回「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの実施
「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールは、

創立100周年を迎えたのを機に、本会の歴史を見つめ直し、「建築と社会」誌がさらに優れた論考の受け皿となり、建築界全体にとって有益な媒体となることを目的に立ち上げた。

「変わらないもの・変わるもの」をテーマに募集したところ8編の応募があり、建築以外の分野の方からの応募も数編見受けられた。公開プレゼンテーション・最終審査を3月12日（土）に行った。

- ・片岡安賞
思案の試作 模型をつくることの内実について
星 洗祐 建築家・和洋女子大学助手
- ・佳作
超高層建築物の〈公共空間〉の転換に伴う「建築デザイン」と「設計主体」の変化
景山 亮 日建設計都市・社会基盤部門
- ・佳作
病院で「学ぶ」ことの意味
生と対話と看護学生のこれから
濱口真帆 金沢大学 看護学専攻3年

7. 出版物の刊行

時代のニーズに即した新しい著書の発掘を第一とし、建築に関する図書の企画・編集・刊行を行っており、1949年（昭和24年）以来多くの図書を出版してきた。「建築技術選書」と「プロのノウハウ」シリーズはその代表である。

8月に「直感で理解する！建築デザイナーのための構造技術の基本」、下半期に「イラストでわかる建築現場のチェックポイント」を刊行した。

8. 「建築と社会」誌のアーカイブの閲覧

協会のホームページの会員専用ページから「建築と社会」誌の創刊号からのバックナンバーを無料で自由に閲覧できるシステムである。4月から最新号もダウンロードできるよう更新した。

9. 建築関係団体等との交流、連携

- (1) 在阪建築4団体との連携
・建築関係をはじめとする各団体と交流・連携事業を行う。特に、2009年度から進めてきた関西建築4団体（大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会）会長・支部長意見交換会での連携活動を引き続き推進した。
- ・4団体で策定した提言書の実現に向けて4会協力して行うとともに、当協会でもその一翼を担う事業を協会活動の中で引き続き検討を行っていく。
- ・在阪建築4団体インターナショナルはコロナ禍により今年度は昨年度に引き続き中止した。
- (2) イケフェス大阪等との連携
「イケフェス大阪」など建築関係団体以外の団体との連携事業も引き続き取り組む。10月30日（土）・31日（日）に開催するイケフェス大阪とは、10月30日にスペシャルツアー「日本建築協会 Presents!近代の大阪城址を歩く」を実施し、公式ガイドブックを販売するなど連携を強めた。

10. 共催、後援、協賛事業

協会の事業主旨に合致する事業に共催、後援、協賛した。

- (1) 共催
・大阪都市景観建築賞
大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部、(一社)日本建築協会
- (2) 後援
・講習会「構造別（中大規模木造・RC造・S造）工事監理における留意点の解説」
(公社)大阪府建築士会
- ・講習会「高層純木造耐火建築「OYプロジェクト」他1件」
(公社)大阪府建築士会
- ・講習会「構造別（中大規模木造・RC造・S造）工事監理における留意点の解説」他2件
(公社)大阪府建築士会
- ・講習会「保育施設における避難安全のバリアフリーデザインの手引き」
(一社)日本建築学会
- ・講習会「小規模な高齢者福祉施設の火災時の安全を考える」
(一社)日本建築学会
- ・講習会「建築物の環境配慮制度と最新省エネ・環境技術」他1件
(公社)大阪府建築士会
- ・なにお建築フェスタ2021児童画展
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・講習会「建設工事の安全関係法改正のすべて！」
(公社)大阪府建築士会
- ・建築技術講習会「ラスモルタル壁の安心・安全を目指す」
(公社)大阪府建築士会
- ・第21回講演会「建築紛争の現状と課題（その6）」
一大阪地方裁判所における「建築と社会」裁判から一

(一社)日本建築学会近畿支部

- ・「建築物の火災荷重および設計火災性状指針」改定講習会
(一社)日本建築学会
- ・卒業展2022
修成建設専門学校
- ・講習会「都市計画の最新動向と開発許可制度の運用・活用」
(公社)大阪府建築士会
- ・建築学生ワークショップ宮島2022
(NPO)アートアンドアーキテクトフェスタ
- ・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・「建築家 竹内誠一郎 講演会」他1件
(公社)大阪府建築士会

(3) 協賛

- ・令和3年度「住生活月間」
住生活月間実行委員会
- ・令和3年度（第31回）大阪府公共建築設計コンクール「あすなる夢建築」
大阪府、(公社)大阪府建築士会、大阪府住宅供給公社
- ・生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪
生きた建築ミュージアム大阪実行委員会
- ・建築・建材展2022（第28回）
（株）日本経済新聞社

(4) 協力

- ・U-35 Under35 Architects exhibition 2022 35歳以下の若手建築家による建築の展覧会
(NPO)アートアンドアーキテクトフェスタ

11. 工事請負契約約款事業

民間（七会）連合協定工事請負契約約款委員会に委員を派遣した。

引き続き「民間（七会）連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」「民間（七会）連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約書類（書式・約款）」「民間（七会）連合協定リフォーム工事請負契約書類（書式・約款）」「民間（七会）連合協定マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」の販売を行った。

約款委員会が発行する4つの約款・書式の説明用パンフレットを販売窓口等で配布し、約款の周知、啓発に努めた。

12. 役員派遣

大阪商工会議所に2号議員として役員1名を派遣した。
(一財)大阪建築防災センターに監事として役員1名を派遣した。

II 支 部

【中国支部】

◎役員会等の開催状況

1. 総会、常議員会、幹事会の開催

定時総会 8月25日（水）書面決議

- ①2020年度事業報告
- ②2020年度収支決算報告及び監査報告
- ③2021年度事業計画（案）
- ④2021年度収支予算（案）
- ⑤役員改選（案）
- ⑥建築施工技術研究委員会活動報告

常議員会 7月28日（水）書面決議

- ①2020年度事業報告
- ②2020年度収支決算報告及び監査報告
- ③2021年度事業計画（案）
- ④2021年度収支予算（案）
- ⑤役員改選（案）
- ⑥建築施工技術研究委員会活動報告

第1回 幹事会 4月26日（月）

- ①2021年度事業計画
- ②技術講習会日程
- ③講習会におけるコロナ感染対策

第2回 幹事会 6月4日（金）

- ①2021年度定時総会
- ②2021年度常議員会
- ③講習会の講義内容
- ④講習会におけるコロナ感染対策

第3回 幹事会 9月30日（木）

- ①2021年度中堅社員技術講習会
- ②2021年度実務講習会
- ③コロナ禍における幹事会のやり方
- ④コロナ禍における講習会のやり方

第4回 幹事会 12月22日（水）

- ①2021年度上半期事業報告
- ②建築工事実務講習会について
- ③講習会におけるコロナ感染対策について
- ④コロナ禍における講習会のやり方について

第5回 幹事会 3月16日（水）

- ①2021年度事業報告（案）
- ②2021年度収支決算報告（案）

- ③2022年度事業計画(案)
- ④2022年度取支予算(案)
- ⑤2022年度講習会の日程について
- ⑥2022年度講習会の講義内容について

◎事業の執行状況

1. 「中堅社員技術講習会」「建築工事実務講習会」の開催

開催中止(新型コロナウイルスの国内における感染拡大を防止)。

2. 工事請負契約約款事業

「民間(七会)連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」

「民間(七会)連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約書類(書式・約款)」

「民間(七会)連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」

「民間(七会)連合協定マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」の販売を行った。

〔東海支部〕

◎役員等々の開催状況

1. 総会、常議員会、幹事会の開催

定時総会 5月26日(水) TEAMS併用

- ①2020年度事業報告・収支決算報告
- ②2021年度事業計画・収支予算計画
- ③支部役員改選
- ④報告事項(支部運営)

第1回 常議員会 幹事会

4月19日(月) TEAMS併用

- ①2021年度定時総会、講演会
- ②2020年度事業報告と2021年度事業計画
- ③2020年度収支決算報告と2021年度収支予算
- ④2021年度支部役員・委員会構成
- ⑤今後の役員会開催方法
- ⑥各常置委員会活動報告

第2回 常議員会 幹事会

5月14日(金) TEAMS併用

- ①2021年度定時総会議案
- ②東海支部定時総会の段取り
- ③今後の支部運営
- ④各常置委員会活動報告

第3回 常議員会 幹事会

6月22日(火) TEAM併用

- ①2021年度定時総会収支
- ②2021年度常置委員会構成
- ③本年度役員会日程

第4回 常議員会 幹事会

7月27日(火) TEAMS併用

- ①支部事務所運営
- ②名簿作成および内容確認連絡
- ③「東海の建築」発刊
- ④8/24青年技術者交流会および納涼会
- ⑤各常置委員会活動報告

第5回 常議員会 幹事会

9月28日(火) TEAMS併用

- ①会員名簿掲載用資料
- ②上半期事業報告書(本部提出)内容
- ③来年3月号「建築と社会」東海特集号記事企画
- ④各常置委員会活動報告

第6回 常議員会 幹事会

10月26日(火) TEAMS併用

- ①来年3月号「建築と社会」東海特集号内容について
- ②2021年度上半期報告
- ③各常置委員会活動報告
- ④実務講習会について

第7回 常議員会 幹事会

11月18日(木) TEAMS併用

- ①来年3月号「建築と社会」東海特集号内容について
- ②2021年度日本建築協会上半期報告について
- ③各常置委員会活動報告
 - ・事業委員会：建築視察事業について

第8回 常議員会 幹事会

12月14日(火) TEAMS併用

- ①来年3月号「建築と社会」東海特集号内容について
- ②各常置委員会活動報告
 - ・事業委員会：建築視察事業について

第9回 常議員会 幹事会

1月20日(木) TEAMS併用

- ①来年3月号「建築と社会」東海特集号内容について
- ②次年度事業計画案について(3月4日 本部報告)
- ③年度事業計画原案
 - ・次年度事業計画及び予算、本年度決算見込
 - ・本年度事業報告及び決算
- ④各常置委員会活動報告

- ・事業委員会：建築視察事業について

第10回 常議員会 幹事会

2月15日(火) TEAMS併用

- ①年度事業計画原案
 - ・次年度事業計画及び予算、本年度決算見込
 - ・本年度事業報告及び決算
- ②実務講習会収支報告
- ③来年3月号「建築と社会」東海特集号内容について
- ④2022年度支部定時総会について
- ⑤各常置委員会活動報告

第11回 常議員会 幹事会

3月17日(木) TEAMS併用

- ①2022年度役員・委員会構成について
- ②年度事業計画原案
 - ・次年度事業計画及び予算、本年度決算見込
 - ・本年度事業報告及び決算
- ③2022年度支部定時総会について
- ④内部監査について
- ⑤各常置委員会活動報告

2. 常置委員会の開催

総務、編集、会員、事業、研修、青年の6委員会を設置し支部運営を行っている。

(1) 総務委員会

支部定時総会準備、年度決算及び次年度予算作成並びに建築士会業務委託内容を含む支部運営の検討等で随時開催した。

(2) 編集委員会

「東海の建築」第89号を8月10日(火)に発刊した。発刊のための関係者との打合せを随時実施した。

「建築と社会」3月号(東海特集号)作成に向け関係者と打合せを適宜実施し、本部編集委員会にWEBにて参加した。

(3) 会員委員会

個人情報保護対策強化による内容確認及び会員名簿作成のため、打ち合せを4回開催した。11月30日(火)に会員名簿を発行し、会員等に送付した。

(4) 事業委員会

国内建築視察(宿泊タイプ)について、委員会での検討によりコロナ状況を踏まえて現地集合日帰り見学会に変更対応し、募集実施も行った。

(5) 研修委員会

通信手段(TEAMS等)を用いて支部建築工事実務講習会の講師検討・手配打合せを3回、支部定期研修会準備打合せを1回開催した。

(6) 青年委員会

若手設計者による現地建物等見学及び意見交換会である「納まり倶楽部」を適宜開催。若手による支部活動の活性化を図っている。

◎事業等の執行状況

1. 新型コロナウイルスに配慮したオンライン型定時総会を開催した。

総会出席、オンライン参加、委任状及び書面による議決とした。支部HP、メール、郵送を活用し周知・運営を図った。

2. 支部機関紙「東海の建築」の発行事業

「東海の建築」第89号執筆。8月10日(火)発行済。

3. 見学会の実施

2/17(木)での実施予定で募集も完了していたが、コロナ拡大により6月3日(金)に延期して実施予定。

4. 建築工事実務講習会の開催

2022年1月19日(水)に開催した。(施工計画・仮設見積・積算業務)。

5. 支部主催定期研修会の実施

11月18日(木)に定期講習会(Web)を開催した。「LIXILオンライン工場見学：榎戸工場編」(衛生陶器)：(株)LIXIL

「アスベスト環境基準とウォータークリーン工法」：(株)マルホウ 松元将太

6. 青年技術者顕彰者交流会の開催

8月24日(火)に第67回、第68回の青年技術者顕彰者(東海支部エリア在籍)を招いた交流会をWEB併用に開催した。

7. 支部会員名簿の発行

東海支部会員名簿2021年度版を11月に発行。

8. 納まり倶楽部(青年交流会)

8月24日(火)に青年技術者顕彰者交流会にメンバーの一部が参加した。11月16日(火)「リモネテラス 公益施設」、12月23日(木)「竹中工務店 名古屋支店名古屋センタービル改修」の見学、意見交換会を開催。

9. 建築関係団体との交流、連携

- ・建築八団体(愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部愛知地域会、日本建築学会東海支部、日本建築構造技術者協会中部支部、

日本積算協会東海北陸支部、愛知県設備設計監理協会、日本建築協会東海支部)連絡協議会に3回参加した。副市長懇談会の調整運営を行った。

- ・中部建築賞協議会に協力し中部建築賞を運営。監事として監査を実施した。運営委員として第一次審査会(ZOOM)への参加と2次審査(現地審査)の実施案の策定と応募者調整等を適宜実施した。2次審査対象作品の内3件に対して、審査員の現地送迎と現地立ち合いをサポートした。表彰式はコロナの関係で中止となった。

10. 支部復活60周年記念講演会

名古屋市立大学名誉教授の瀬口哲夫先生から、5月26日(水)の支部総会後に「草創期の東海支部と名古屋建築界」と題する講演会を開催した。

コロナ感染症対策として、対面と遠隔の2つを用意し、対面式の会場には24名、WEBには25名の参加登録があった。

東山植物園大温室を設計した元東海支部長の一園俊郎氏を中心に、東海支部の建築協会の人脈を読み解き、名古屋の建築界を俯瞰した内容であった。

11. 支部運営の見直し

建築士会業務委託の見直しに伴い、健全な支部運営を継続するための運営改善を検討し総会に報告、実施開始した。支部事務局は週2回の運営、専用電話の設置と運営日以外はメッセージでの対応することとした。

〔京都支部〕

◎役員等々の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会の開催

定時総会 8月13日(金) 書面決議

- ①2020年度事業報告・収支決算報告
- ②2021・2022年度京都支部役員を選任
- ③2021年度事業計画・収支予算計画

会計等監査 6月28日(月)

①会計等監査

第1回 常議員会 11月11日(木)

- ①令和3年度セミナー
- ②京都近現代建造物調査事業

第2回 常議員会 12月18日(土)

- ①令和3年度セミナー
- ②京都近現代建造物調査事業
- ③会員増強

第3回 常議員会 2月10日(木)

- ①令和3年度セミナー
- ②京都近現代建造物調査事業
- ③2022年度事業企画・検討

第4回 常議員会 3月31日(木)

- ①令和3年度セミナー
- ②京都近現代建造物調査事業
- ③2021年度会計報告書・2022年度予算書
- ④助成金事業
- ⑤次年度に向けた企画・検討事項

◎事業の執行状況

1. 講演会、見学会、勉強会の実施

- ①令和3年度第1回セミナー「建築史外の建築ー京都を彩る建物や庭園」に見る価値の多様性」勉強会を10月1日(金)に実施。講師 石川祐一氏 参加者14名。
- ②令和3年度第2回セミナー「「わびさき」と「きれいさき」からみた茶の湯空間」勉強会を12月10日(金)に実施。講師 桐谷邦夫氏 参加者13名
- ③令和3年度第3回セミナー「歴史的建築物の活用と改修ーその機能とデザインを考える」を2月25日(金)に実施。講師 笠原一人氏 参加者31名

2. 2級建築士受験講習会の開催

京都府建築士会共催「製図(基本・応用)」7月17日(土)～9月5日(日)受講者：11名

①2級受験講習会 製図(基本) 2日間 講師：加藤正浩/KATO建築研究所 京都府建築士会事業委員会委員

②製図(応用) 延べ6日間 講師：加藤正浩/KATO建築研究所 京都府建築士会事業委員会委員

3. 工事請負契約約款事業

「民間(七会)連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」

「民間(七会)連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約書類(書式・約款)」

「民間(七会)連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」

の販売を行った。